

山葵
名稱

〔本草和名〕菜十八山葵葉似葵、故名之。龍珠實名也、出孟謨。和名和佐比。

〔倭名類聚抄〕薑十六山葵養生秘要云、山葵和名和佐比、漢語抄用山薑二字、今案所出未詳。補益食也。

〔類聚名義抄〕八山葵ワサビ山薑ワサビ

〔伊呂波字類抄〕植物附植物具山葵ワサビ龍珠同山薑ワサビ

〔下學集〕草下木山葵ワサビ

〔易林本節用集〕和木山葵ワサビ

〔東雅〕穀十三山薑略中

倭名鈔に養生秘要を引て、山葵はワサビ、漢語抄に山薑の字を用ひ、今按するに、所出未詳と見えたる、或人の説に、ワサビといふものは、蔊菜一に辣米菜といふものは是也といふなり、ワサビといふ義詳ならず、漢語抄に山薑と見えしは、ヤマハジカミといふ事はありけん、蔊菜の事は、亡友稻若水の説也、其説長ければ、此に注せす。

〔本朝食鑑〕三辛山葵訓二和

釋名、山薑中略必大平野按、山葵似賀茂神山之葵故名耶、山薑因根狀而名耶。

集解、山葵處處所在有之、家國多種之、四時俱采根、二月下種或植舊根、三四月生苗、葉似冬葵及落而厚圓、色深青有細毛、六七月作穗二三寸、開細黃白花、結子極細、種子不如種根、冬月最宜采根、其根似良薑、根而根皮青黑多瘤、有短鬚、其肉綠碧而微粘、有香、其味辛辣不減芥子、其所用者可隨所宜耳、

〔令義解〕賦役三凡調略中其調副物略註正丁一人略中山薑一升、

〔延喜式〕二十四主計凡中男一人輸作物略中山薑芥子各二升、

〔厨事類記〕汁實

今案、汁實盛于別杯、可居加之、但供寒汁之時、汁實與利山薑夏蓼板目鹽都呂々薯蕷橘葉等盛同盤、居加之、